



《発行》
神戸鈴蘭台高校
編集部

ストップコロナ・エバンジェリスト(伝道師)プロジェクト 若者の感染予防を呼びかける 緊急事態宣言5月末まで延長



↑感染対策のため、パーテーションが設置され、コの字で座談会をする大学生と編集部員

今は我慢 無症状の場合も

編集：コロナウイルスはどのようなところが危険ですか？

川上：自分が自覚症状なしにウイルスをもって、それを基礎疾患をもっている人や高齢者に移してしまう可能性があるのが怖いところです。今、病院では息をするにも機械が必要な患者がたくさんいますが、人工呼吸器が足りていないのも危険です。

編集：普通の風邪との違いを教えてください。

2人：風邪やインフルエンザはすぐに症状が出ますが、コロナはすぐに症状がでない場合があり、知らずに感染を広めてしまうことがあります。

編集：感染拡大はいつ頃まで続くと予想していますか？

大谷：いつ終わるのかわからないのは自分達にも分かりません。ですが今、我慢しないともっと広まっています。今の頑張りをやめると辛い時期が長くなってしまいます。みんなの感染意識を高めてほしいです。

編集：中高生を見ていて思うことはありますか？

大谷：高校生だけではなく、電車で大声で話しているところをよく見かけるので注意してほしいです。学校の中では制限があるので対策をしっかりしている人もいますが、それ以外のときでも自分が意識をもって行動して行ってください。

収束後のしたいことリスト共有

編集：おふたりがコロナ対策のためにしていることを教えてください。

大谷：手洗い、うがい、アルコール消毒をこまめにするのは当たり前だと思いますが、アルコールは手が濡れたままでしてもあまり意味がありません。しっかりとハンカチで手を拭いてからするようにしましょう！また、水分補給をすることも大切です。のどが渴いていると風邪をひきやすくなります。自分の身体を維持し、免疫力を高めるためにしっかりとご飯を食べて適度な運動をして睡眠をしっかりして規則正しい生活をしましょう。

編集：コロナ禍での楽しみを教えてください。

川上：LINEでの通話やZOOMなどのオンラインで友人と話すことや、家で美味しいものを食べる、映画やアニメを見る、ストレッチ、語学習得など家で感染対策をしながらできる自分の好きなことを見つけていくことが大切だと思います。コロナが終わってから何がしたいかなどを友達と共有することもおすすめです。

編集：大学でコロナウイルスについて学んでいますか？

大谷：コロナウイルスについては先生が授業前に少し話をされるくらいです。なので自分達で調べています。先生の発言から改めて自分の行動を振り返り、コロナの怖さやどういう対策をすればいいのかを伝え実践しましょう！

編集：ワクチンの副作用についてどう思いますか？

川上：薬を使うことで出てほしくない副作用を伴うのはどの薬でも起こりうることだと思います。私は積極的

4月27日(火)に本校会議室でストップコロナ・エバンジェリスト(伝道師)プロジェクトが実施された。同プロジェクトは、若者の新型コロナウイルス感染が急増している状況を踏まえ、看護を学ぶ大学生が同世代ならではの目線で高校生に感染予防の呼びかけを行うために行われた。神戸常盤大学保健科学部看護学科4回生の大谷知加さん、川上芽咲さんと兵庫県広報戦略課「兵庫県ってなんだ？—なのおみチャンネル—」の方々が来校された。1面には編集部員と大学生が座談会した内容を掲載する。

にワクチンを接種したいです。

編集：もし、コロナにかかってしまったと思うような症状が出た場合どうすればいいですか？

大谷：まずは、広げないことが大切です。保健所などに電話し、自分の部屋にこもり正直に検査してほしいです。

編集：高校生がすべきことはありますか？

川上：ご飯を食べているときなどマスクを着けていない場面では喋らないなど、自分ができることからコツコツと行動して行ってほしいです。学校にいただけでも思い出はできると思うので、なるべく学校には行ってほしいと思います。また、コロナに対して興味を持ち注目してもらいたいです。



← 新入部員も初めての取材に挑戦！

鈴高の対策 例



↑食堂に貼られた張り紙

- ・保健委員の呼びかけでしっかり換気をする。
- ・各教室、各部活、校舎入口などにアルコールを設置する。
- ・昼食は机をくっつけず前を向いて黙食。
- ・食堂内での購入物の持ち出し禁止。
- ・弁当の食堂持ち込み禁止。